

ふくしのまち福岡 138

●●●社協だより●●●

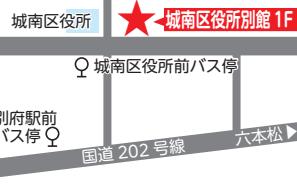
2026年・冬号

NO.

138

城南区版

福岡市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ここと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
城南区社協事務所(城南区社会福祉協議会)
福岡市城南区鳥飼5-2-25 城南区役所別館1階
TEL: 092-832-6427 FAX: 092-832-6428
Eメール: jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

らんとも 認知症啓発イベントRUN伴2025を開催しました!

「RUN伴」とは、認知症の方や家族、支援者、その他多くの地域の方がタスキをつなぎゴールを目指す、認知症の啓発イベントです。今年度は、福岡市各区全体の取組みとして、令和7年11月1日に実施しました。

城南区では介護施設や公民館など、計4カ所から出発し、サンカルナ福岡城南(住宅型有料老人ホーム)に集合した後、ゴールの白熊園(特別養護老人ホーム)を目指しました。



▲みんなでゴールを目指します

白熊園ではゴールイベントとして、城南高校吹奏楽部による演奏や参加施設によるギター演奏が披露されました。演奏を聴くだけでなく、当事者の方たちも一緒に歌い、手拍子をして、大盛況のイベントとなりました。



▲吹奏楽部の演奏



▲ギター演奏!みんなで手拍子

RUN伴は、介護事業所やボランティア有志の皆さんで企画・実施しています。

来年度もこのイベントを実施する予定です。企画からご協力いただける介護事業所、ボランティアを随時募集しておりますので、お問い合わせは城南区社協までご連絡ください。



▲全員集合!

令和7年度運営・企画協力事業所

白熊園、ウエストライフ南片江、多機能型サービスめおといわ「つむぐ」、ケアタウン茶山、ケアプランセンターうさぎ、七隈の里、ありえすケアプランサービス、サンカルナ福岡城南(順不同)

災害時の円滑な支援のために 個別避難計画作成ワークショップ実施中

個別避難計画とは、避難行動要支援者(※)について、「誰が安否確認や避難のサポートをするか」「支援の内容や避難先をどうするか」などを平時から決めておく計画書です。

計画作成は、地域で見守り活動に取り組む方と協力して行ないます。そのサポートとして、令和7年度城南区社協では、城南区内4校区・地区で各2回のワークショップを実施しています。

ワークショップでは、災害時の避難支援体制づくりの必要性などについて、城南区社協職員が説明を行ない、校区・地区によっては実際に計画書を作成しました。

今後は校区・地区の実情に合わせた活用ができるように、地域のみなさまと話し合いながら計画書の作成を進める予定です。

【各校区・地区的実施状況】

別府校区：9月24日(次回2月予定)

田島校区：10月19日(次回1月予定)

堤 地 区：10月22日(次回2月予定)

金山校区：11月12日(次回2月予定)

(※)避難行動要支援者

自ら避難することが困難で、円滑・迅速な避難の確保をするために特に支援を要する人



▲別府校区のワークショップの様子

災害に備えてみんなで体験学習! ～城南校区災害食づくり～

令和7年6月28日、城南校区社協主催の「災害食づくり」が城南公民館で開催されました。

はじめに城南区総務課防災安全・安心係による防災講話がありました。災害が起きた際のシミュレーション映像や避難に関する話に、参加者は聞き入っていました。

災害食のメニューは、湯煎で作るカレーと蒸しパンです。調理器具が限られる災害時でも美味しく食べられます。カレーにはツナ缶を、蒸しパンにはバナナを入れ、よりおいしく効率的に栄養が摂取できるよう工夫がされています。

参加者からは、「防災の講話を聞いて、家でも災害に備えなければいけないという意識ができた」「災害食を手軽に作ることができて美味しかった」といった声も聞かれ、防災意識が高まった様子でした。



▲災害食のカレーと蒸しパンをつくる様子



この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。